

## 長崎県観光動向調査 (令和5年1～3月分)

### 主要指標

令和5年1～3月

|        | 対象施設 | 延べ宿泊客数<br>利用者数 | R5-R4 同期比 |        | (参考)R5-R1 同期比 |
|--------|------|----------------|-----------|--------|---------------|
|        |      |                | 増減率       | 増減数    | 増減率           |
| 主要宿泊施設 | 194  | 1,281千人        | +62.4%    | +493千人 | ▲ 2.1%        |
| 主要観光施設 | 28   | 1,153千人        | +77.2%    | +503千人 |               |

令和4年10～12月

|        | 対象施設 | 延べ宿泊客数<br>利用者数 | R4-R3 同期比 |        | (参考)R4-R1 同期比 |
|--------|------|----------------|-----------|--------|---------------|
|        |      |                | 増減率       | 増減数    | 増減率           |
| 主要宿泊施設 | 200  | 1,532千人        | +16.3%    | +215千人 | +4.4%         |
| 主要観光施設 | 28   | 1,516千人        | +15.5%    | +203千人 |               |

|        | 主要宿泊施設<br>客室稼働率 | 前年同期比<br>(ポイント) |
|--------|-----------------|-----------------|
| 1～3月累計 | 64.4%           | + 16.9          |
| 1月     | 54.7%           | + 10.7          |
| 2月     | 65.4%           | + 26.1          |
| 3月     | 73.3%           | + 14.9          |

### 概況

令和4年1～3月期は、感染力が強いオミクロン株の急拡大を受けてまん延防止重点措置が適用されたことなどで、旅行需要は一時的に低調であったものの、県や一部市による旅行割引の効果などで改善傾向となりつつあった。

令和5年1～3月期は3年ぶりに行動制限がない年末年始となったことや全国旅行支援の影響、各地区の大型イベントの再開などにより旅行需要が堅調に推移し、主要宿泊施設の宿泊客数は、1～3月全体の対前年同期比+62.4%となった。対R1年同期比で見ると、2.1%とほぼコロナ禍以前の水準まで回復した。

主要観光施設の利用者数は、修学旅行の需要が好調であったことや新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い主な観光施設が休館を余儀なくされた昨年からの反動増などから、多くの施設で利用者が前年を上回り、1～3月期全体で対前年同期比+77.2%となった。

## ブロック別の主な増減要因

### 【長崎・西彼ブロック】

3年ぶりの開催となったランタンフェスティバルの効果などで主に関東からの宿泊客が増加したことなどから、2月の対前年同月比+148.6%、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比+74.0%となった。対R1年同期比は、大規模宿泊施設の開業などがあったことから+6.0%となった。

### 【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

1～3月期の宿泊客数は対R1年同期比では5.1%に留まったものの、一部市の旅行割引の効果などで、ハウステンボス及びその周辺の宿泊施設において関東の宿泊客を中心に増加が見られたことから、対前年同期比+68.8%となった。

### 【平戸・松浦ブロック】

福岡からなどの宿泊客が増加したことや松浦地区の工事関係者の宿泊需要が堅調に推移したことなどから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比+59.5%となり、対R1年同期比では6.4%となった。

### 【諫早・大村ブロック】

引き続きビジネス客の宿泊需要が堅調に推移しており、感染拡大時においても、他のブロックと比較すると影響が小さかったこともあり、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比+13.7%と他と比べると低い増加率となった。また、対R1年同期比+22.7%となった。

### 【島原半島ブロック】

1～3月期の宿泊客数は、対R1年同期比では20.4%となったものの、一部市の旅行割引の効果などにより、対前年同期比は+72.8%となった。

### 【五島ブロック】

五島列島が舞台の連続ドラマ放送や市の旅行割引の効果などにより、関東・関西を中心に宿泊客が増加したことなどから、1～3月期の宿泊客数は対前年同期比+56.6%となった。また、対R1年同期比でも+36.7%と大幅増となった。

### 【壱岐ブロック】

1～3月期の宿泊客数は対R1年同期比では9.9%になったものの、福岡などの県外客の宿泊増加があったことなどから対前年同期比+44.3%となった。

### 【対馬ブロック】

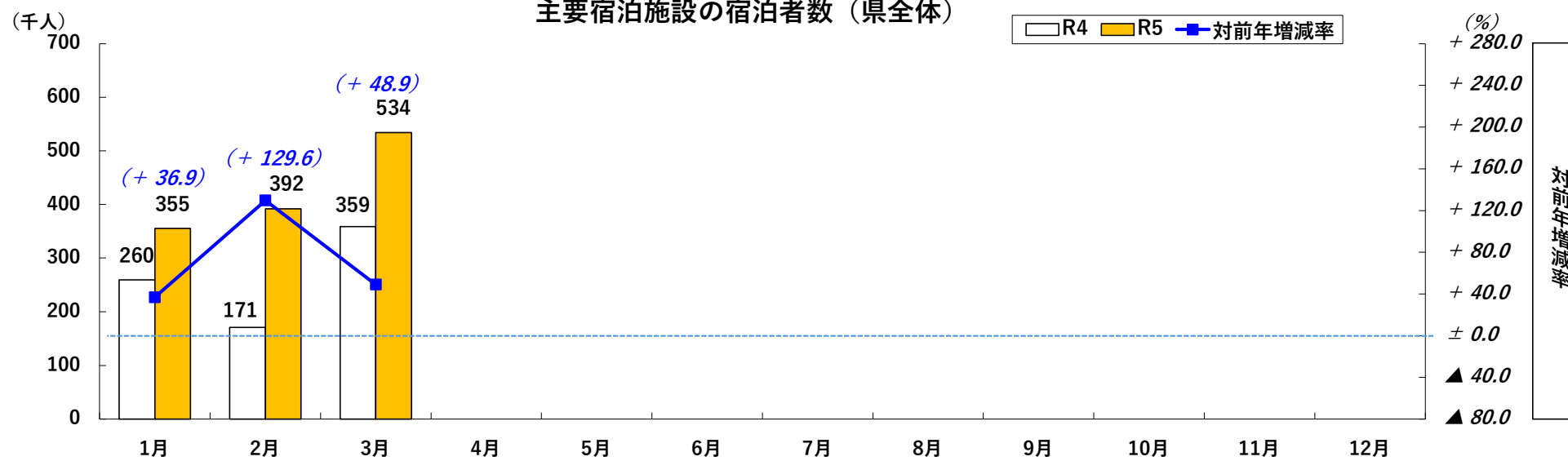
3月に韓国釜山を結ぶ国際定期航路が3年ぶりに再開となった効果などにより、対前年同期比+30.5%となった。対R1年同期比では、韓国人の宿泊客の回復が低調であることから48.4%となった。

### 【参考】外国人観光客（宿泊客）の動向

令和4年10月の水際規制緩和に伴い訪日外国人宿泊客が増加傾向にあることや佐世保地区の米軍関連アメリカの宿泊需要が一定あることから1～3月期の外国人宿泊者数は対前年同期比+378.1%となった。

(参考資料)

主要宿泊施設の宿泊者数（県全体）



主要観光施設の利用者数（県全体）

